



島原市の家計簿



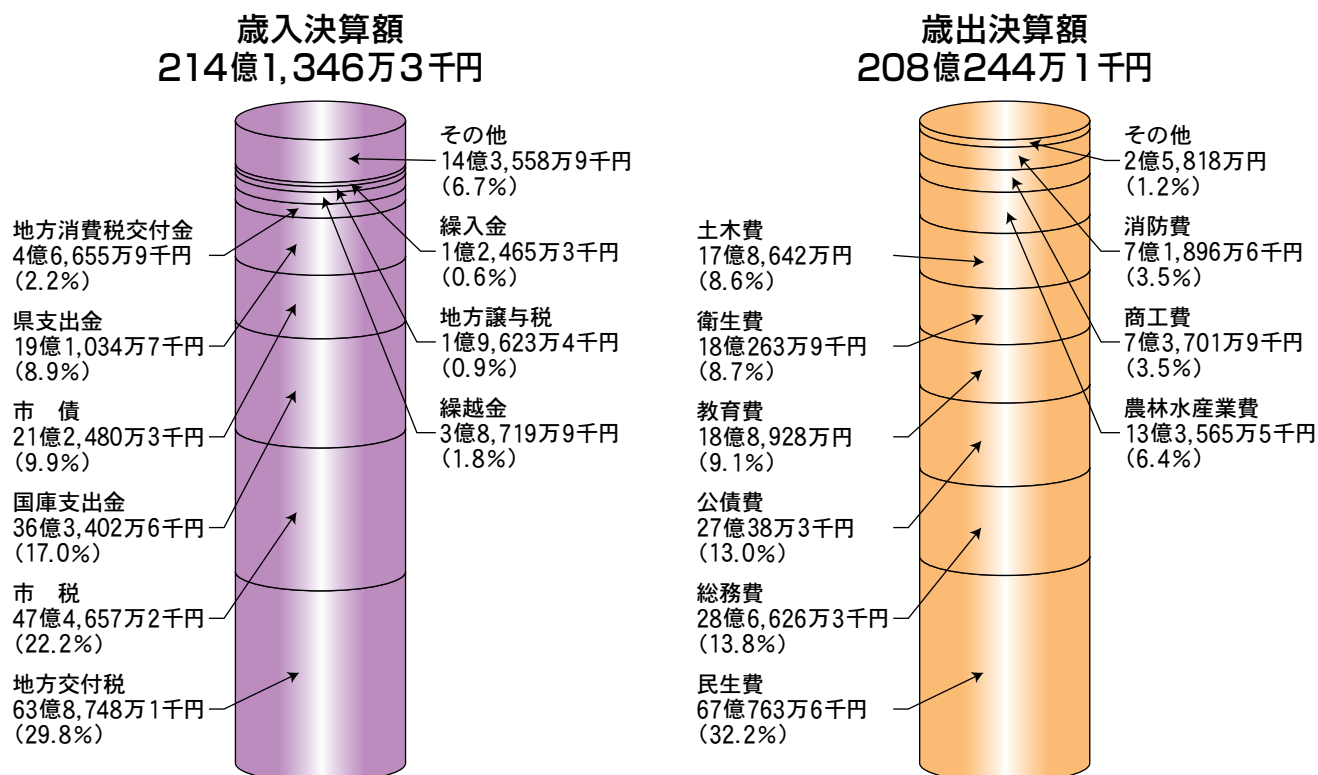
市では1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業をしているのかを市民の皆さんに年2回お知らせしています。今回は平成21年度決算について説明します。

問い合わせ先：経営管理グループ財政班 TEL 63-1111 内線152

平成21年度の一般会計決算

平成21年度の一般会計の歳入決算額は214億1,346万3千円で、前年比13.4パーセントの増、歳出決算額は、208億244万1千円で、前年比12.5パーセントの増となりました。

■平成21年度一般会計決算の内訳



■島原さんの家計簿

平成21年度一般会計決算額を市民一人当たり置き換えて、身近な家計簿のようにまとめてみました。

収 入 （市民一人当たり）			支 出 （市民一人当たり）		
項 目	予算上の内容	金 額	項 目	予算上の内容	金 額
給料	市税、使用料、手数料など	110,119円	食費など	給与、議員報酬など	66,157円
親からの援助	国庫・県支出金、地方交付税など	258,227円	日用品や公共料金など	旅費、光熱水費、郵便料、電話料など	51,737円
預金の引き出し	他会計からの繰入金	2,531円	家電などの修理	維持補修費	1,347円
借入れ	市債	43,146円	医療費など	児童手当、生活保護費、福祉医療費など	75,772円
先月からの繰り越し	前年度繰越金	7,862円	家屋の増改築	普通建設事業など	62,402円
雑収入	諸収入、寄附金など	12,932円	ローン返済	公債費	54,833円
			預金	積立金、貸付金など	13,926円
			町内会費など	一部事務組合負担金など	57,022円
			子どもへの仕送り	他会計への繰り出し金	39,213円
収 入 計		434,818円	支 出 計		422,410円

※人口は48,861人（平成22年3月31日現在）として算出

■平成21年度に実施した主な整備事業

萩が丘住宅整備事業

【事業費 472,432千円】

萩が丘住宅建て替え事業の第3期建設分(3棟27戸)が完成しました。また、4期および8期建設事業として建設地の従前住宅を解体しました。

島原城トイレ改修事業

【事業費 32,712千円】

島原城の屋外トイレを建て替えました。

道路・街路整備事業

【事業費 622,167千円】

東城内線、小路境ノ松線、親和町湊広場線、靈南山ノ神線、下新丁線などを整備しました。

四明荘購入事業

【事業費 66,307千円】

湧水庭園「四明荘」を購入しました。

小中学校校舎等耐震補強事業

【事業費 97,540千円】

第三小学校特別教室棟、第二中学校体育館、有明中学校体育館の耐震補強工事等を実施しました。

大根洗浄選別施設整備事業

【事業費 532,061千円】

島原雲仙農協が利用する大根洗浄選別施設の導入に対し補助を行いました。

■平成21年度決算 目的税の使途状況

都市計画税

(単位：千円)

事業名		平成21年度決算
街路整備事業費		337,375
公債費(都市計画事業債のみ)		424,025
合 計		761,400
財 源 内 訳	都市計画税	368,041
	国庫・県支出金	103,261
	市 債	98,800
	その他特財	0
	一般財源等	191,298

入 湯 税

(単位：千円)

事業名		平成21年度決算
環境衛生施設整備		46,100
鉱泉源の保護管理施設整備		14,000
消防施設整備		24,227
観光振興		4,300
観光施設整備		139,707
合 計		228,334
財 源 内 訳	入 湯 税	20,225
	一 般 財 源 等	208,109

平成21年度の特別会計決算

特別会計は、7会計合計で歳入決算額は83億7,376万6千円で前年比2.3パーセントの減、歳出決算額が81億6,765万9千円で前年比0.7パーセントの減となりました。

(単位：千円)

会 計 別	予 算 額	収入済額(A)	支出済額(B)	差引(A)-(B)
国民健康保険事業	7,013,913	6,986,019	6,898,376	87,643
温泉給湯事業	79,247	84,612	63,496	21,116
交通災害共済事業	13,095	12,387	11,294	1,093
老人保健	118,089	123,239	106,301	16,938
島原都市計画事業 安中土地区画整理事業	32,643	56,129	26,091	30,038
有明町簡易水道事業	733,416	606,750	567,170	39,580
後期高齢者医療	520,469	504,630	494,931	9,699
合 計	8,510,872	8,373,766	8,167,659	206,107



チェック!!

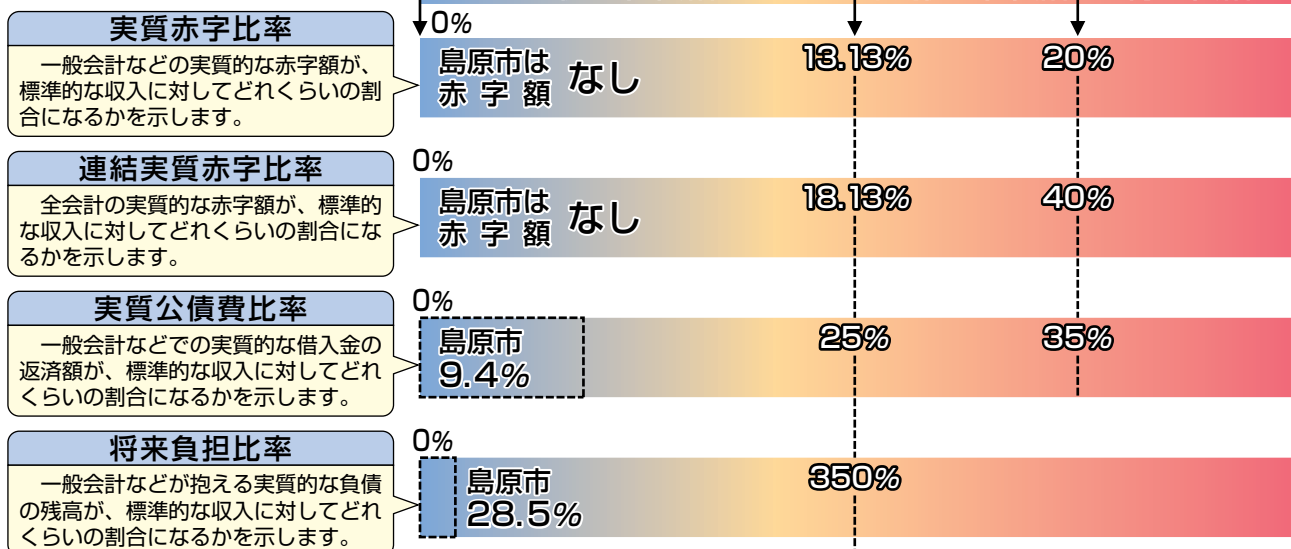
島原市の財政健全化判断比率等の状況（平成21年度決算）

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、毎年度「健全化判断比率」と「資金不足比率」を議会に報告し、公表することになっています。

島原市の平成21年度の健全化判断比率・資金不足比率は以下のとおりです。

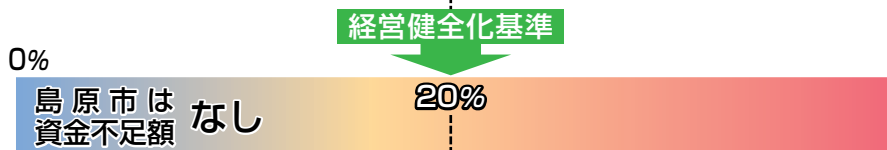
健全化判断比率

健全化判断比率には、次の4つの指標があります。



資金不足比率

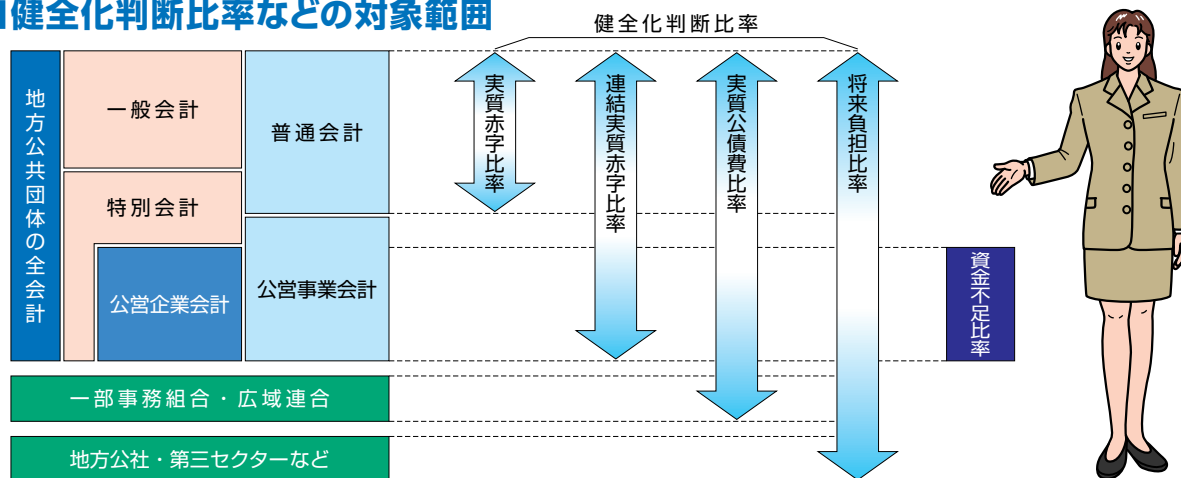
各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示します。



健全化判断比率など早期健全化基準（経営健全化基準）以上の場合、議会の議決を経て財政健全化計画を定め、財政の健全化に向けて計画的に取り組まなければなりません。

さらに、財政再生基準以上の場合には、議会の議決を経て財政の再生計画を進めなければなりません。また、総務大臣の同意を得なければ、一部を除き地方債を借ることができなくなります。

健全化判断比率などの対象範囲



平成21年度決算に基づく本市の健全化判断比率は、すべて早期健全化基準を下回りましたが、経常収支比率は90.4%と高く、ゆとりが少なく、当市が厳しい財政状況にあることには変わりありません。これからのいろいろな市民の要望に柔軟にお答えするため、「行政改革大綱」や「集中改革プラン」に基づき、より一層の行財政改革を推進して行きます。